

第5回 矢作川流域治水協議会の開催

近年の激甚化・頻発化する水害に備え、矢作川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進することを目的として、「矢作川流域治水協議会」を適宜開催しています。

今回「第5回 矢作川流域治水協議会」を開催し、令和3年度の関係者の取り組み内容を相互に確認すると共に、新たな考え方を追加するなど、更なる「流域治水」の発展に向けて意見を頂きました。

協議会開催状況 (WEB)

【開催概要】

日時：令和4年3月14日(月)

15:30 - 16:30

会場：WEB開催

【主な議事】

- ・これまでの取組状況等について
- ・矢作川水系流域治水プロジェクトの充実（提案）



第5回 矢作川流域治水協議会の開催

【決議と提案】

- ・ 矢作川流域治水協議会規約の改定案が決議されました。
- ・ 矢作川流域治水プロジェクトの新たな取組としてグリーンインフラの紹介と、充実として効果の見える化を提案し承認されました。

【主な意見】

- ・ 岡崎市：鵜の首の事業において、上下流バランスに配慮した計画的な整備と共に、下流の水位上昇を心配する沿川住民に対して積極的な情報発信や丁寧な説明をお願いしたい。また、矢作川流域自治体の連携による広域避難に関する検討と、早期の水位予測情報の提供をお願いしたい。
- ・ 碧南市：堤防整備が重要と考えているため、これまでと同様に堤防整備をしっかりと進めていくをお願いしたい。
- ・ 豊田市：グリーンインフラの取り組みとして、湛水機能を付加した公園整備を検討している。湛水機能を確保するための取組という視点で新たな仕組みの検討をお願いしたい。
- ・ 安城市：水田貯留を中心に、流域治水の取組を今後も推進していく。
- ・ 西尾市：内水による被害の発生頻度が高いため、水田貯留や排水施設による事前対応で被害を最小限にする対策を実施している。
- ・ 幸田町：ハザードマップの作成のほかに幸田町安全テラスセンター24という組織体制をつくり、今年度より本格運用し水害等に備えている。
- ・ 恵那市：流域の上流部に位置するため、森林整備に取り組んでいる。間伐材の利活用にも取り組んでおり、今後も継続していく。
- ・ 平谷村：森林整備や砂防施設の整備に尽力している。
- ・ 根羽村：特に意見は無い。
- ・ 長野県：流域治水推進計画を策定し、県有施設への貯留施設の設置やため池の水位低下対策等目標を設定している。また、流域治水のシンポジウムを実施する等啓発に努めている。
- ・ 岐阜県：河川砂防に係るハード・ソフト対策を行っている。地域住民、県民の方への理解促進のため、総合学習を活用した防災教育や事業説明会等の機会を活用していきたい。
- ・ 愛知県建設局：整備計画に基づき、上中下流と乙川の4つの圏域でそれぞれ整備を進めている。3/7に県内の二級水系の流域治水プロジェクトの作成が全水系で完了し公表した。
- ・ 愛知県農林基盤局：治山ダムを設置や造林事業等による間伐等の森林整備を実施し、土砂流出の抑制機能や雨水浸透機能などの森林の持つ公益的機能を維持、増進している。
- ・ 中部電力(株)：事前放流について、今年度の出水期には3回体制に入った。事前に放流を実施する際の連絡体制の確保や地域住民の方への広報活動等について検討していきたい。
- ・ 林野庁中部森林管理所：国有林内で行う治山事業による流域保全や、間伐などにより森林の浸透能の向上を図る森林整備などを継続して実施していく。